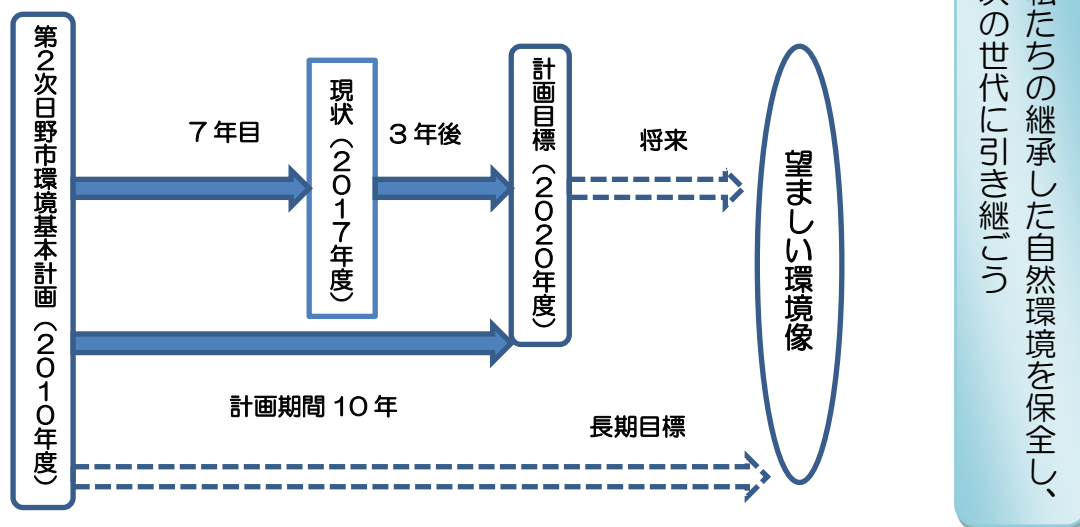


## 2. 環境基本計画目標達成状況

2011年3月に策定された「第2次日野市環境基本計画」では、“将来の望ましい環境像”が掲げられています。そして、“望ましい環境像”の実現に向けて、各分野(みどり、水、ごみ、地球温暖化、生活環境)別に、10年後に目指す環境の姿(目標)と、目標を達成するための市の取り組み(施策)が掲げられています。

これらの“望ましい環境像”の指標(環境の現状を評価する指標)および市の取組状況(施策の実施状況)が、環境基本計画の目標を達成しているかどうかの指標となっています。本白書に掲載している指標は全体で52項目です。



環境基本計画の計画期間と目標

ここでは、「環境の現状」「市の取組状況」「分野別目標達成状況」の順に、第3章で詳述している内容について目標達成状況の概況をとりまとめています。各指標の評価基準は以下の通りです。

凡例	評価	評価の基準	
		環境の現状(望ましい環境像)の指標	市の取組状況の指標
☺	達成	計画目標を達成もしくは良くなる傾向	過去の実績を踏まえて良くなる傾向
☹	未達成	計画目標を未達成もしくは悪くなる傾向	過去の実績を踏まえて悪くなる傾向
◇		どちらとも言えない、判断できない(定量的な比較が困難なもの等)	

2. 環境基本計画目標達成状況

表1 本白書掲載の指標・データと目標達成状況

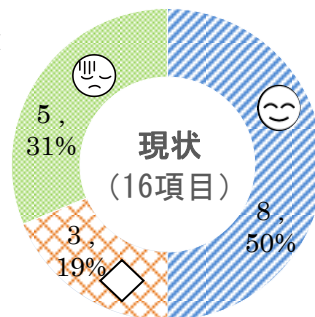
分野	施策の方向	施策	指標・参考データ	達成状況	掲載頁	
みどり	環境の現状（望ましい環境像）の指標		指標1 土地利用現況調査「森林」の割合	×	12	
			指標2 緑被率	×	12	
			指標3 農地面積	×	13	
			(参考) 生産緑地面積	-	13	
			指標4 市民一人当たり都市公園面積	×	14	
		(参考) 多摩地区の一人当たり都市公園面積	-	14		
	自然度の高いみどり	民有緑地の公有地化等の推進	指標5 市が寄付や買収等で取得した樹林地面積	○	16	
		緑地管理協定等による保全の推進	指標6 緑地信託面積	△	16	
		市民緑地活動の積極的支援	指標7 緑のトラストへの寄付件数	△	16	
		ボランティアによる里山の管理と活用	指標8 雑木林ボランティア講座修了者数	○	17	
	農地の保全と活用	市民農園等の拡充	指標9 市民農園の面積	○	17	
		援農ボランティア制度の拡充	指標10 援農人数	○	17	
		地元野菜にふれる機会の充実	指標11 「市」の開催日数	○	18	
			指標12 学校給食における地元野菜等利用率	○	18	
	指標13 給食野菜納品農業者数	○	18			
まちのなかのみどりの創出・保全	生け垣緑化の推進	指標14 生け垣の助成件数	△	19		
水	環境の現状（望ましい環境像）の指標		指標15 浅川の水位	×	20	
			(参考) 浅川の流量測定結果	-	21	
			指標16 湧水確認地点数・湧水量	△	22	
			(参考) 湧水地点の状況	-	22	
			指標17 各用水路の水質分析結果	○	24	
			指標18 河川・用水・湧水の水生生物確認状況	○	25	
			(参考) 水生生物による水質の生物学的判定	-	26	
			指標19 水辺に親しみやうるおいを感じる市民の割合	△	28	
		湧水・地下水の保全	地下水揚水量の把握	指標20 地下水揚水量	○	30
	雨水浸透・貯留利用の推進	家庭や事業所への雨水浸透・貯留施設の設置促進	指標21 雨水浸透ます設置個数	○	30	
		(参考) 透水性舗装整備状況	-	31		
	水質の保全	生活排水および汚水処理の施設整備	指標22 下水道普及率	○	32	
	協働による水辺の保全・活用	水辺に親しむ活動の推進	指標23 水辺イベントの開催数	○	32	
		(参考) 「ビオトープづくり」の取組件数	-	33		
		水辺の保全・管理活動の推進	指標24 「用水守」の登録団体数	×	33	
	ごみ	環境の現状（望ましい環境像）の指標		指標25 1人1日当たりのごみ排出量	○	35
				(参考) ごみの行方	-	36
				指標26 資源化率	△	36
				(参考) ごみ量内訳	-	37
			指標27 マイバック持参率・レジ袋辞退率	○	39	
ごみ排出量の低減		レジ袋無料配布中止の拡大	指標28 ペットボトル、発砲トレーの行政回収率	△	39	
		容器包装お返し大作戦の展開	指標29 焼却ごみの組成（乾ベース）	○	40	
リサイクルの推進		分別ルールの徹底	(参考) 焼却ごみの組成（湿ベース）	-	40	
		生ごみの家庭内循環（自家処理）の普及促進	指標30 生ごみ処理機補助の件数	○	41	
		指標31 生ごみリサイクルステッカー掲示世帯数	×	42		
市民・事業者への啓発		情報提供ツールの充実	指標32 環境学習出前講座の実施回数	×	42	
			指標33 ごみ相談窓口への相談件数	○	43	
			指標34 クリーンセンター見学者数	△	43	
協働によるごみゼロの実現		新聞紙の民間回収への移行	指標35 新聞紙の行政回収量	○	43	
地球温暖化	環境の現状（望ましい環境像）の指標		指標36 日野市二酸化炭素排出量	○	45	
			(参考) エネルギー消費量	-	46	
			指標37 公共交通機関（ミニバス・バス）の整備率	○	47	
			指標38 市内連絡バス（ミニバス）年間利用者数	○	47	
			指標39 「ふだん着でCO2をへらそう宣言」の宣言数及びCO2削減量	○	48	
	省エネルギーの推進	CO2の見える化の推進	指標40 ワットチェッカー等貸出状況	△	49	
		省エネ診断の支援	指標41 省エネ診断の参加事業者数	×	49	
	新エネルギーの導入	太陽光発電等導入補助の実施	指標42 太陽光発電等の導入補助件数	○	50	
		太陽光、太陽熱、風力等の積極的な活用	指標43 公共施設の新エネルギー導入状況	○	50	
	環境に配慮した交通体系の構築	渋滞の解消	指標44 都市計画道路の整備率	○	51	
生活環境	環境の現状（望ましい環境像）の指標		指標45 心やすらぐ快適な生活環境であると感じる市民の割合	○	52	
			(参考) 苦情受付件数	-	52	
	日常生活をとりまく環境の充実	PRの実施	指標46 マナーアップのための啓発活動状況	○	54	
	公害対策の推進	大気汚染物質の監視	指標47 浮遊粒子状物質（SPM）年平均値	○	54	
			指標48 二酸化窒素の年平均濃度	○	55	
			指標49 二酸化窒素24時間測定結果	○	56	
			指標50 雨の酸性度	△	56	
			(参考) 富士山ウォッチング	-	57	
道路交通騒音の測定および対策の実施		指標51 道路交通騒音	○	58		
航空機騒音についての対策	指標52 横田飛行場に係る航空機騒音	○	59			
放射線測定	(参考) 市内空間放射線量測定	-	60			

○：達成 ×：未達成 △：どちらともいえない -：評価対象外（参考データ）

## 2. 環境基本計画目標達成状況

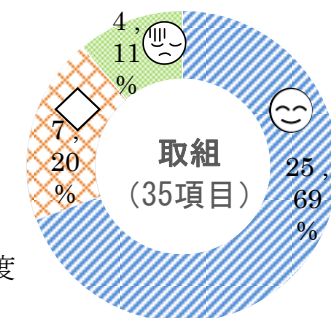
### (1) 環境の現状

環境の現状（望ましい環境像）を評価する指標は52指標中16指標あります。目標達成状況は前出の表1（P.7）と右の円グラフに示す通りで、16の指標のうち8指標で「達成」と評価され、「未達成」は5指標と、全体では前年度よりやや良くなりました。「未達成」の5指標の内訳は、「土地利用現況調査「森林」の割合」、「緑被率」、「農地面積」、「市民一人当たり都市公園面積」、「浅川の水位」で、みどり分野において特に現状が厳しいことがうかがえます。



### (2) 市の取組状況

市の取組状況を評価する指標（「環境の現状」の指標以外）は52指標中36指標です。目標達成状況は前出の表1（P.7）と右の円グラフに示す通りで、36指標のうち25指標（69%）で「達成」と評価されています。「未達成」は4指標（11%）と少なく、前年度とほぼ同程度の結果で、行政や市民の努力がうかがえます。

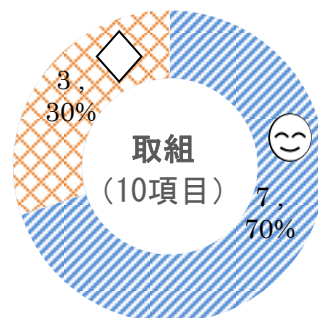
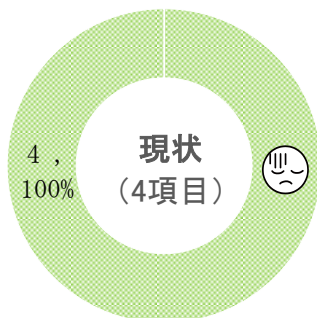


### (3) 分野別目標達成状況

😊 達成    😞 未達成    ◇ どちらともいえない

#### ○みどり分野

みどり分野の現状（環境の現状）と取組（市の取組状況）の目標達成状況は以下に示す通りです。現状は、4指標中全てが目標を未達成と評価されており、厳しい状況と言えます。一方で、取組では10指標中7指標で目標を達成しており、行政や市民の努力は評価できます。取り組みにより現状が改善されない点が課題と言えます。

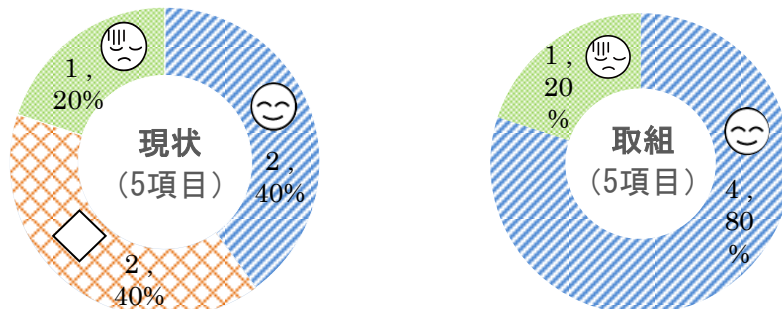


### ここがポイント！

- 森林の割合、緑被率、農地面積のいずれも減少。特に農地の減少が深刻ですが、相続が主な原因と考えられ、現在の施策により歯止めをかけることが困難な状況です。
- 「雑木林ボランティア講座」「農の学校(援農ボランティア育成講座)」については着々と修了者数が増加。修了者のボランティア活動への参加を期待します。
- 「生け垣の助成件数」は、新たな助成制度（ウェルカムツリー）により大幅に増加。今後もみどりの創出への効果が期待できそうです。

## ○水分野

水分野の現状（環境の現状）と取組（市の取組状況）の目標達成状況は以下に示す通りです。現状は、5指標中2指標で「達成」、2指標が「どちらともいえない」、1指標が「未達成」でした。数字で見れば悪くない状況ですが、「未達成」指標の「浅川の水位」については、流域全体の問題であり、大きな課題と言えます。取組では5指標中4指標が目標を達成しており、行政や市民の努力が評価できます。

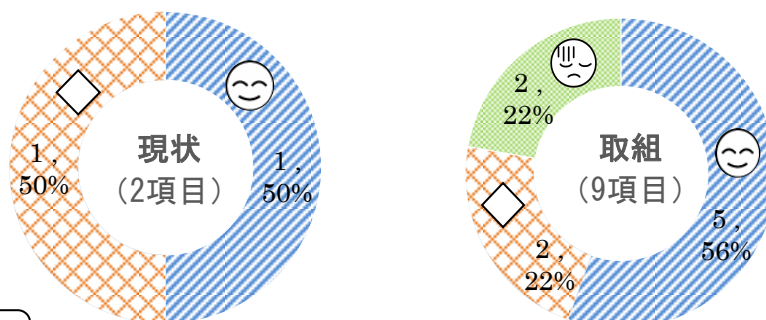


## ここがポイント！

- 浅川の流量(水位)は目標値を未達成の状況が続いていることから、2017年2月から市のプロジェクトチームによる流量調査を実施しています。今後のデータの蓄積により対策に寄与できることを期待します。
- 下水道普及率は高い水準を保ちながら微増し、河川や用水の水質は良好です。
- 市による湧水量調査や水生生物調査の実施、水辺に親しむ活動が例年通りの規模で開催されるなど、水環境保全のための取り組みが行われています。

## ○ごみ分野

ごみ分野の現状（環境の現状）と取組（市の取組状況）の目標達成状況は以下に示す通りです。現状は、2指標中1指標で「達成」、1指標が「どちらともいえない」で、悪くない状況です。取組では9指標中5指標で「達成」と評価されており、行政や市民の意識の高さがかがえる一方、まだ努力の余地があるとも言えます。



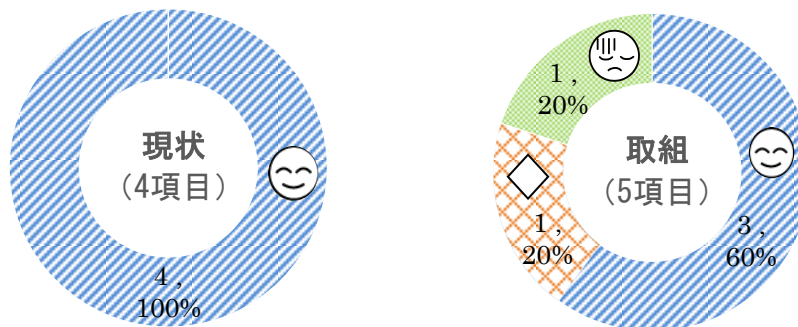
## ここがポイント！

- 1人1日当たりのごみ排出量は年々減少し、目標値に近づいています。
- 容器包装の行政回収量がここ数年増加傾向にあることが気がりではありませんが、レジ袋無料配布中止の拡大や生ごみの家庭内循環については一定の成果が見られます。
- クリーンセンター見学者数は建て替えのため少ない状態ですが、建て替え後には見学施設の整備により増加することに期待します。

## 2. 環境基本計画目標達成状況

### ○地球温暖化分野

地球温暖化分野の現状（環境の現状）と取組（市の取組状況）の目標達成状況は以下に示す通りです。現状は、前年度未達成だった「日野市二酸化炭素排出量」が短期目標を達成し、4指標全てが「達成」となりました。取組では5指標中3指標で「達成」となっており、「未達成」は1指標のみで、現状の目標達成状況を鑑みれば、行政や市民の努力が評価できるといえます。

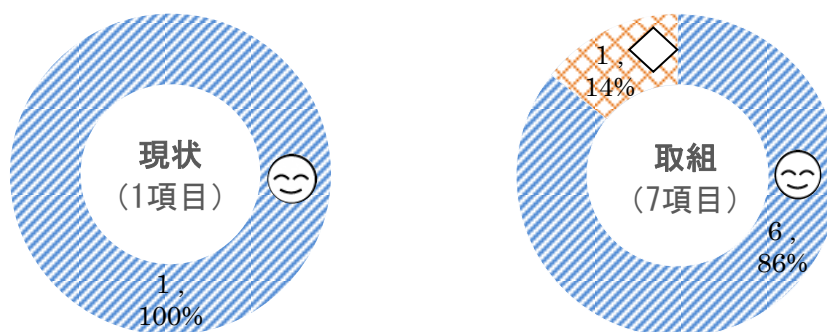


#### ここがポイント！

- 二酸化炭素排出量は3年続けて減少し、短期目標(2015(平成27)年度に設定)を達成することができました。
- 「ふだん着でCO<sub>2</sub>をへらそう宣言」や「環境家計簿(エコキング)」といった、市民一人ひとりの取り組みについても目標値を大きく上回っており、市民の意識の高さが評価できます。

### ○生活環境分野

生活環境分野の現状（環境の現状）と取組（市の取組状況）の目標達成状況は以下に示す通りです。現状を評価する指標は1つだけで「達成」と評価されています。取組の指標は7指標ありますが、このうち6指標は大気質や騒音の現況を評価するものです。「未達成」の指標はなく、生活環境については良好な状況が保たれていると言えます。



#### ここがポイント！

- 「未達成」の指標は1つもなく、良好な生活環境が維持されていると言えます。
- 「雨の酸性度」や「空間放射線量測定」といった、市民の関心が高いデータも掲載しています。